

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	〇〇			
○保護者評価実施期間	令和6年12月 23日		～	令和7年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 7日		～	令和7年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障害の特性を踏まえたニーズに応じた発達支援の提供 (一人一人のお子様に合わせ、5領域の視点を踏まえた継続的な支援)	本人支援の5領域(「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」)の視点を踏まえたアセスメントを行い、日常生活リズムの確立から就学、社会生活を見据えた支援を行う。また、発達のタイミングを逃さず、必要な場面が必要な支援を提供し本人のやってみようを伸ばします	・ABA(応用行動分析)の導入 ・職員のスキルUP ・多職種連携 ・ニーズに応じた遊びと支援の研究
2	家族支援 (研修会、親子療育、個別相談会、給食参観、自由参観、生活体験、インスタでの日常の発信)	家族からの相談に対する相談援助 ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助やその時の必要な支援機関などのご提案 ・日常の様子発信	・事業所内職員、誰でも相談できるよう職員のスキルUP ・ご家族とのさらなる信頼関係作り
3	医療的ケア支援の実施 (お子様の発達支援、ご家族支援)	・関係機関連携 ・看護師との連携 ・衛生管理、健康管理	・定期的な担当者会議の実施 ・ご家族とのさらなる信頼関係作り ・職員の知識向上

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時対応 (自然災害、事故発生時対応、不審者対応)	日常の訓練で行っているものの、臨場感のある設定を行い、どの職員でも対応できるスキル獲得が立地的にも求められると考える。	・訓練実施の際の臨場感と現場に即したマニュアルの見直し ・緊急対応が求められる分野ごとのスキル獲得に向けた訓練
2	兄弟支援・ペアレントプログラム実施について	定期的なペアレントプログラムの実施や兄弟支援の確実な実施が出来ていない為、次年度は確実実施が出来るように計画を策定していく。	・兄弟児同士の関係作りの場の実施 ・ペアレントプログラムの実施計画の公表と実施に向けたプログラム策定
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リコ

公表日 令和7年 2月 26日

利用児童数 令和6年 12月 1日 31名 回収数 28

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1			特にありませんでした。	設置基準は十分に満たしており、今後、建物隣接の公園もできるため、体を思い切り動かす活動も取り入れて参ります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	3		2	特にありませんでした。	基準は満たしており、必要に応じて職員の確保を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく快適化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1		3	特にありませんでした。	段差などなく、お子様の生活しやすい環境設定となっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28				特にありませんでした。	日常、整頓整頓、清潔な空間を心がけております。気になる事等ございましたら、お声掛けください。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2		2	特にありませんでした。	必要に応じてその都度、又月1回は職員のスキルアップの為に勉強会を開催しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			5	特にありませんでした。	5領域の視点をもって、一人一人のお子様にあった支援内容を提供できるように努めております。月間予定表においてもお示しさせていただいておりますのでご確認ください。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28				特にありませんでした。	今後とも皆様、ご家族様と共有しながら努めて参ります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			1	特にありませんでした。	個別支援計画においても、項目ごとに必要な支援をお示しさせていただいております。不明な点がございましたらお声掛けください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1			特にありませんでした。	お子様の発達段階に合わせて児童発達支援計画に沿って支援させていただいております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27			1	特にありませんでした。	お子様方のクラスの状況を鑑みながら、は発達段階に合わせた内容を策定出来るように努めております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	12	3	9	特にありませんでした。	建物内にございます、小規模保育園とは数回交流もありましたが、他地域の交流はない為検討して参ります。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28				特にありませんでした。	今後もしっかりとした説明に努めて参ります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28				特にありませんでした。	今後もしっかりとした説明に努めて参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	1		2	特にありませんでした。	今後ペアレントトレーニング、研修などを企画して参りますので、ぜひご参加ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	27	1			特にありませんでした。	毎日の申し送り、連絡帳にて日常のお子様の様子を伝えるようにしておりますが、気になること等ございましたらお気軽にお声掛けください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25			3	特にありませんでした。	モニタリング、アセスメント、個別支援会議等通じて、適宜お話をさせていただいておりますが、職員のスキルアップを行い、さらに専門的サポートが出来るように努めて参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28				特にありませんでした。	今後とも一人一人のお子様のサポートに努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	4	1	6	特にありませんでした。	今年度は数回、自由参観を開催し、ご家族様の交流の機会を設定させていただきました。兄弟向けのイベントについては、企画できていない為検討して参ります。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1	3	特にありませんでした。	職員、嘱託医との相談会の実施など、毎月月間予定表等にご案内しておりますので、気になる事がございましたらお声掛けください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27		1	特にありませんでした。	今後も細やかなサポートが出来るように支援に努めて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	2	1	特にありませんでした。	インスタを始めてからたくさんのご家族様に日常のお子様の様子をご確認いただけるようになりました。今後もこまめに情報をお伝えしていけるように努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	3		特にありませんでした。	事業所以外に漏洩のないよう細心の注意を払い努めて参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27		1	特にありませんでした。	毎月1回の避難訓練もマニュアルに沿って対応しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26		2	特にありませんでした。	毎月1回の訓練内容については、備りのないよう行っております。また、館全体として行う事も設定しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			特にありませんでした。	館内の掲示欄にも開示しておりますが、不明な点はお問合せ下さい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27		1	特にありませんでした。	発生した事故に関しては、即座にご家族へ連絡させていただいておりますが、もし、ご家庭に帰られてからお気づきになったことなどありましたら、ご連絡ください。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	1		特にありませんでした。	まずは、お子様が、安心して楽しく通園していただく事を目的としております。職員との信頼関係を築けるように努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26		2	特にありませんでした。	楽しい、安心した場所になる事を第一とし、サポートして参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28			特にありませんでした。	今後もお子様とご家族様と寄り添いながら支援に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
〇〇		令和7年 2月 26日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		声掛け等、みんなで協力している	基準に対しての職員配置は満たしておりますが、お子様の状況に合わせた配置であったり、職員一人一人のスキルUPに努め、余裕のある発達支援に努めて参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、清掃、消毒を行い、清潔な環境が保てるように努めております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		これまでも情報共有についてSNSなどを利用し可能な限り努めていた。また、月1回は職員会議にて全職員で会議実施を心がけている。	職員の皆様の勤務時間差等あり、全職員そろって協議する時間確保が出来ていない為、情報伝達の工夫を行いながら、ITなどを使用し改善に努めて参ります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回の会議で普段できない協議を行い、情報共有に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		今年度は3月に行う予定としております。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月1回の勉強会の設定と、法人として年2回は様々な研修を開催しています。また適宜外部研修参加を行っております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを利用し対応しておりますが、お子様の発達状況をご家族と細かく共有できるように書式の見直しなど行っております。	全職員が把握できるように、情報伝達内容の改善を図ります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		今年度は建物内にある、小規模保育園と一緒に活動を行うなど交流を行いました。	今後、定期的に交流を図れるように努めて参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		適宜ご家族向けに研修案内を行っておりま	研修案内の回数をこれから増やしながら、共にスキルアップできるように努めて参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リ（保育所等訪問支援事業）			
リ（保育所等訪問支援事業）	なし ～ なし			
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	0名	（回答者数）	0名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		～	2025年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	1名	（回答者数）	1名
○訪問先施設評価実施期間	なし ～ なし			
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	0	（回答数）	0
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・本人のニーズに応じた支援 （アタッチメント、5領域の視点を踏まえたアセスメント、集団生活の環境の中での本人実態に応じた支援、環境作りの配慮等）	本人ニーズ ・訪問先と連携しながら本人が安心できる環境作りへの配慮 ・支援方法の情報共有（視覚的、行動分析等）	本人のニーズに応じた支援 （アタッチメント、集団生活の環境の中での本人実態に応じた支援、環境作りの配慮等）
2	・ご家族のニーズに応じた相談援助 （本人の実態への理解に対するアプローチ、集団生活への理解、相談できる窓口の明確化等）	家族ニーズ ・集団生活における本人の実態、目標等の共通理解 ・集団生活に対する不安の軽減	・相談援助における支援者のスキルアップ ・報告連絡相談における支援者のコミュニケーションスキルアップ
3	・訪問先のニーズに応じた相談援助、助言 （本人が安心して過ごせる環境作り、訪問先のスタッフへの助言アドバイス）	・相談しやすい信頼関係の構築、環境作り	・相談援助、助言等における支援者のスキルアップ

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・限定的な訪問支援員	・訪問支援員の人材育成	・事例検討会やケース検討会等を通して訪問支援員のスキルアップ ・事業所内研修・法人研修・外部研修、接遇研修でのコミュニケーションスキルの向上
2	・訪問支援事業の周知不足	・訪問支援事業の意義についての広報不足	・事業所ご家族への案内の作成 ・幼稚園・保育園・学校への訪問支援の周知
3			

公表日 令和7年 2月 26日

利用兒童數 0

回收数 0

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。						必要に応じて準備可能です	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。						面談室は個室でありプライバシーに配慮した作りになっております。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。						現在、登録の方がいらっしゃる状況ですが、契約の際に説明をしっかりとさせていただきます。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。						希望があられた際には適宜訪問施設と相談し決定して参ります。	
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。						職員体制を整えております。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						職員のスキルアップとして、毎月1回療育研究会にて勉強し、より専門的な支援の提供を目指しております。	
	本人のニーズに応じた家族のニーズに応じた訪問先のニーズに応じた	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	本人への ・訪問先と連携しながら本人が安心 ・家族生活における本人の苦悩や相談しやすい信頼関係の構築、環境作り		ズに応じた支援（アタッチ			モニタリング、アセスメントにて保護者様からの情報を基に、検討会議にて職員間で共有しながら計画を作成しています。	
		保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。		における支援者のスキルアップ				契約の際にはニーズを確認しながら策定して参ります。	
		保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		助、助言等における支援者のスキ				児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。	
		10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						計画に沿って支援しておりますが、随時職員間で確認し合いながら進めて行きます
		11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。						訪問先の保育に差支えないよう、活動内容を把握した上で訪問しております。
保護者への説明等	「限定的な訪問支援」 「訪問支援事業の周知不足	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	・訪問支援員の人材育成		会やケース検討会等を通して訪問			契約時に説明させていただきます。	
		「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	「訪問支援事業の意義についての広報不足		家族への案内の作成・幼稚園・			利用前に発達支援計画を基に支援内容の説明を行い、その後誕生月、半年後と定期的に説明を行っています。	
		事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。						研修の案内など適宜行って参ります	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。						利用がある場合はお子様の状況を保護者様と共有させていただき、併用先と支援の統一を図ってまいります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						半年に1回は面談実施と必要に応じて随時面談調整を行って参ります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						共感的に支援できるよう、研修等で支援の姿勢を学んでおります。	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、スムーズな解決に繋げられるよう努めます。	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						お子様には絵カードを用いて意思を確認したり、保護者様とは申し送りや連絡帳等で情報伝達を行っております。	
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。						訪問先施設から相談があった際は随時対応し情報共有や必要な支援を行っています。		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。					訪問後必ず訪問先の職員と情報共有の場を設け、支援の統一を図っております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。					訪問実施日に保護者様と共有して参ります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。					保育所等訪問に関する情報の発信が少ない為、今後増やせるよう検討していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					個人情報の管理に関しては徹底しております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。					連携できるように努めて参ります。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めてまいります。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。					お子様の状況に合わせて対応して参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年 2月 26日

〇〇（保育所等訪問支援事業）

利用児童数

0名

回収数 0

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。					わかりやすい説明ができるよう配慮してまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。					引き続き専門的な知識を深めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。					ご質問があればいつでもお問い合わせいただける体制は整えております。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。					訪問開始後は定期的に課題や困りごとを共有させていただき、少しでも解消できるよう努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。					
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
					次年度は保育所等訪問支援事業の確実な実施に努めて参ります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
〇〇		7年 2月 26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討して参ります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○			実施しております
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			現在も適宜参加しております
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			法人内の職員が参加しております。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			研修の案内は適宜行って参ります
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			体制は整備しております
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			策定済みです。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			策定し適宜訓練を行っております。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			実施しております。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			実施しております。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			利用希望がある場合は実施して参ります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リコ（トラム）			
○保護者評価実施期間	令和6年12月23日 ～ 令和7年 1月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年2月7日 ～ 令和7年2月18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就労に見通しをもてるよう、体験活動に特化した取り組みを行っている。	- 一人ひとりの進捗を把握し、小さな成功体験を積み重ねることによって自信を身につけることができるよう行っている。 - 実際の体験を通して、報連相（報告・連絡・相談）や時間管理を練習する場を提供している。 - 他の利用者と協力する経験を増やし、個人だけではなく「チームで働く」ことを意識することができるよう取り組んでいる。	「できた」の見える化ボードを設置し、達成状況を視覚的に確認できるように行う。 - 電話応対、名刺交換、接客マナーなどを実施し、職場で必要なマナーを学ぶ。
2	小学5年生から高校3年生までを対象としており、高学年での繋がりをもつことができる。	- 高学年で集まれる場を提供し、同年代での関わりを楽しむことができている。 - 将来の見通しをもって活動に取り組むことができている。	- それぞれに役割をもって取り組むことができるよう支援していく。 - 高校生が「教える側」となり、人に伝えることができるよう支援していく。
3	放課後等デイサービスと多様な関連サービスが連携できる	法人内の児童発達支援や相談支援との連携などによりを円滑に進めることができている。加えて、通所や就労支援事業所も備えているため、放課後等デイサービス終了後も組織的な支援を継続することが可能。	保護者様のご要望や必要に応じて地域との連携を図っていますが、現状では法人内の事業所内で支援が完結することが多い状況です。今後は、外部の事業所や関係機関との連携をさらに強化し、より幅広い支援体制の構築を目指してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域との連携が十分に確立されていない	- 他事業所や地域との合同イベントや共同活動の場が設けられていない、または頻度が少ない。 - 外部とのつながりを意識する機会が少ない。	どのような形で連携すれば事業所の支援向上につながるのか、検討していく。
2	家族同士で交流できる行事が少ない	療育時間帯にお仕事をされている保護者様が多く、欠席が多くなってしまう事。行事の企画数そのものが少ない事。	お仕事をされている方でも参加しやすいよう、時間設定や活動場所を工夫する。また、親子行事のご案内を早めに行うことで予定の調整がしやすいよう配慮する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リコ（トラム）

公表日 令和7年2月26日

利用児童数 令和7年2月1日 49名

回収数 12名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	3	0	0		多機能施設の利点を生かして、活動に合わせながら活動場所の工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	3	2	1		職員配置の基準は満たしております。今後も勉強会や実践を重ね、職員のスキルアップへと繋げて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	0	0		館内の階段には左右どちらにも手すりが設置されていて必ず使用するように声掛けをしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	2	0	1		今後も複合施設のいろいろな空間を利用しながらのびのびと過ごせる環境作りを検討して参ります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	3	1	0		5領域の目標にしっかり照らし合わせながら楽しく参加できるように随時検討していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1	0	1		日頃から保護者様のご意向もお聞きし活動内容を工夫して幅広く柔軟に対応をしています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5人以内の児童発達支援や相談支援との連携	1	0	1		お子様一人一人の目標に向けて、個々の発達段階に合わせた方法を見つける事が出来るよう取り組んでおります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	2	0	0		学年や学校だけでなく、個々の特性に合った具体的な計画・取り組みを今後も継続していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	2	0	0		申し送りや、必要であれば面談なども柔軟に取り入れながらタイムリーな共有に努めています。職員間でもアセスメントを強化しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	0		学年や学校だけでなく、個々の特性に合った飽きない活動や遊びを展開しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	0	3	2		園外活動先で友達と出会い、交流を楽しめることが何度かあります。個人情報の観点から写真などでお伝えできておりません。差支えない形で啓発できるように工夫を検討していきます。
保護 者へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1	0	0		今後は更に具体的に随時説明を個別支援会議の日などに行い、わかりやすく疑問点を払拭出来るように継続していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1	0	0		個別支援会議等で相談支援も加わった支援内容の説明に努めているところです。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	0	1		家族会、カフェ参観など行っており機会を作っていますが、更に個別の相談にも配慮を続けていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	3	0	0		ご利用の少ない利用者様への共通理解の場を更に検討していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	1	1		各御家庭に沿った困り感にしっかり対応できるように連携を図っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	4	0	0		様々な場面で慣れていけるように遊びの工夫など検討を深めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	0	1		今年度は家族会や自由懇談会などで少し語り合えるような機会を作ってみました。今後も周知に努めてまいります。

等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2	0	1	随時申し込みがあればすぐに相談の場を設けますので遠慮なく声をかけて頂ければと思います。こちらからもお声かけさせていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	3	0	0	相談しやすい場の工夫を更に考えてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	2	急ぎの共有事項に関しては現在「さくら連絡網」を使用しながら配信させていただいております。自己評価につきましては、後日ホームページに公開予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	1	通常は、鍵付きの棚に保管し、取り扱いにつきましては全職員、十分に注意しております。管理に関しては、今後も徹底し行って参ります。申し送りの場の工夫を考えていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	1	家族会等を通してわかりやすい伝達を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	1	具体的な地域の特徴に合った訓練等を活動内容や申し送り等に盛り込んでおり、今後も自然災害、不審者対策訓練など反復して実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0	活動の時間と自由時間の違いを明確にして安全に過ごせる支援を提供していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	1	0	小さな異変やけがについても説明等を今後も丁寧に行っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	2	0	0	個別対応など合わせながら工夫をしていき社会性経験値などへと支援を深めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	3	0	0	活動内容とニーズ、課題を照らし合わせて運営しています。苦手に感じることも少しずつ楽しく感じてもらえるように場や時間設定など今後も職員間で検討し療育に生かしてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	保護者様のご理解・ご協力のもと、お子様の大切な成長時期に少し背伸びした活動にもチャレンジを続けています。今後とも言葉や将来への見通しにつながるよう支援に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リコ（トラム）		公表日 令和7年2月26日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動や遊びに応じて療育室と室内運動場を使い分けている。	子どもの動線を考慮し、より快適に過ごせるよう配置を見直す。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			基準を満たした職員配置数にはなっているが、下校の時間帯の支援の質を向上させるため、職員の配置を最適化を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		イラストや絵カード等の視覚教材を用いた支援を行なっている。手すりやスライドドアなど、建物のバリアフリー化もされている。	トイレの構造が未就学児仕様になっており、便器が小さかったり、プライバシーの配慮に欠けていたため、別場所のトイレを使用。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育終了後に必ず清掃をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		その時の状況に合わせて複数の療育室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月1回の職員会議にて実態の共有と改善に向けての取り組みについて話し合う事ができている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回の評価にていただいたご意見を事業所内で共有し業務改善に活かしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	法人内の児童発達支援や相談支援との連携など		業務改善に向けてのアンケート、個別面談などをおこなっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価はおこなっていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回、療育研究会を実施。また、外部研修も定期的に受講している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成した支援プログラムをホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		事業所職員全員でモニタリング、アセスメントを行い計画作成をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		同上	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		同上	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人内で統一されたアセスメントツールを活用している。また、お子様の状態に関してはその都度、職員間で情報共有できている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿って計画作成をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所職員全員で活動プログラムを考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		様々な就労の体験に取り組めるよう、事業所職員全員で内容を確認している。	これまでに取り組んだことのない活動を取り入れていきたい。今後も将来を見据えた活動を継続していく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの性格や特性に応じた支援計画書を作成している。個々の目標だけでなく、自立に向けた支援を意識している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			基本的には打合せができていますが、職員体制や受け入れ時間によっては十分な時間を確保できないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			支援終了から退勤までの間に打ち合わせができず日をまたいでしまったり、職員の休み等で情報共有が遅れたりすることがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日誌を毎日作成している。また、連絡帳にその日の様子を細かく記載するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員間で適度な情報共有ができています。また、必要に応じて支援計画書の修正もおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			地域交流の機会をあまり設けることができていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			作業体験を取り入れ、どの作業を行うか自己選択できるようにしている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		定期的に参加する事ができている。また、必要に応じて担当者会議開催の依頼もおこなっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連絡を取り合っている。	日常的な連携は図れていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年2回の学校情報交換会や送迎の際など、こまめにやりとりができている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		法人内の事業所を利用していたお子様の情報共有ができています。	保育所や幼稚園、認定こども園などとは連携を図る事ができていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行先や保護者様から依頼があった場合にのみ情報提供をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		法人内の児童発達支援センターと連携を図っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		法人内の他放課後等デイサービスとの交流活動をおこなっている。	地域の事業所との交流活動は企画したことがない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			法人内の職員が参画しており、情報共有しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		申し送りや個別面談を通して子育てや支援に対する情報共有ができています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			感染症対策で中止して以降、ペアレント・トレーニングを実施できていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明をおこなう。また、契約書や重要事項説明書、運営規定などの内容に変更が生じた際はその都度説明をおこなっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントや個別支援会議、モニタリング等を通して聞き取りをおこなっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画書の内容に対して必ず説明を行い、同意を得た日付と署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		申し送りでの情報交換だけでなく、電話連絡や個人面談もおこなっている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に家族会や親子行事をおこなっている。	回数が少ないため、今後さらに提供の機会を増やしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決に向けてのマニュアルがあり、それに沿って対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやSNS、掲示写真を通して活動内容の発信をしている。行事予定は書面発行とメールを利用して毎月必ず配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		重要事項説明書に個人情報の扱いに関する記載があり、それらを遵守している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードやハンドサインなどを活用した視覚支援、ホワイトボードを活用した筆談などを取り入れている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		法人での取り組みはあるが、事業所としての行事開催はおこなっていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれのマニュアルを策定している。避難訓練は、地震、火災、風水害を想定して毎月実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		同上	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時の聞き取りと、アセスメント表を通じて年に1回必ず聞き取りをおこなっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		法人内の栄養士と連携を図り、個別対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に研修や訓練がおこなわれている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時対応についてのご案内や緊急連絡先の聞き取りをおこなっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内だけでなく、法人全体でも共有するようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所として、月1回虐待防止、身体拘束適正化委員会を実施、また、法人内でも同様の研修があり、定期的に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		同上	